

# 和歌山病院 ニュース

第12号

2004年4月発行

職員一同は、患者さまの権利と立場を尊重し、地域と密着した

**【安心と信頼をいただける病院】**

をめざします。



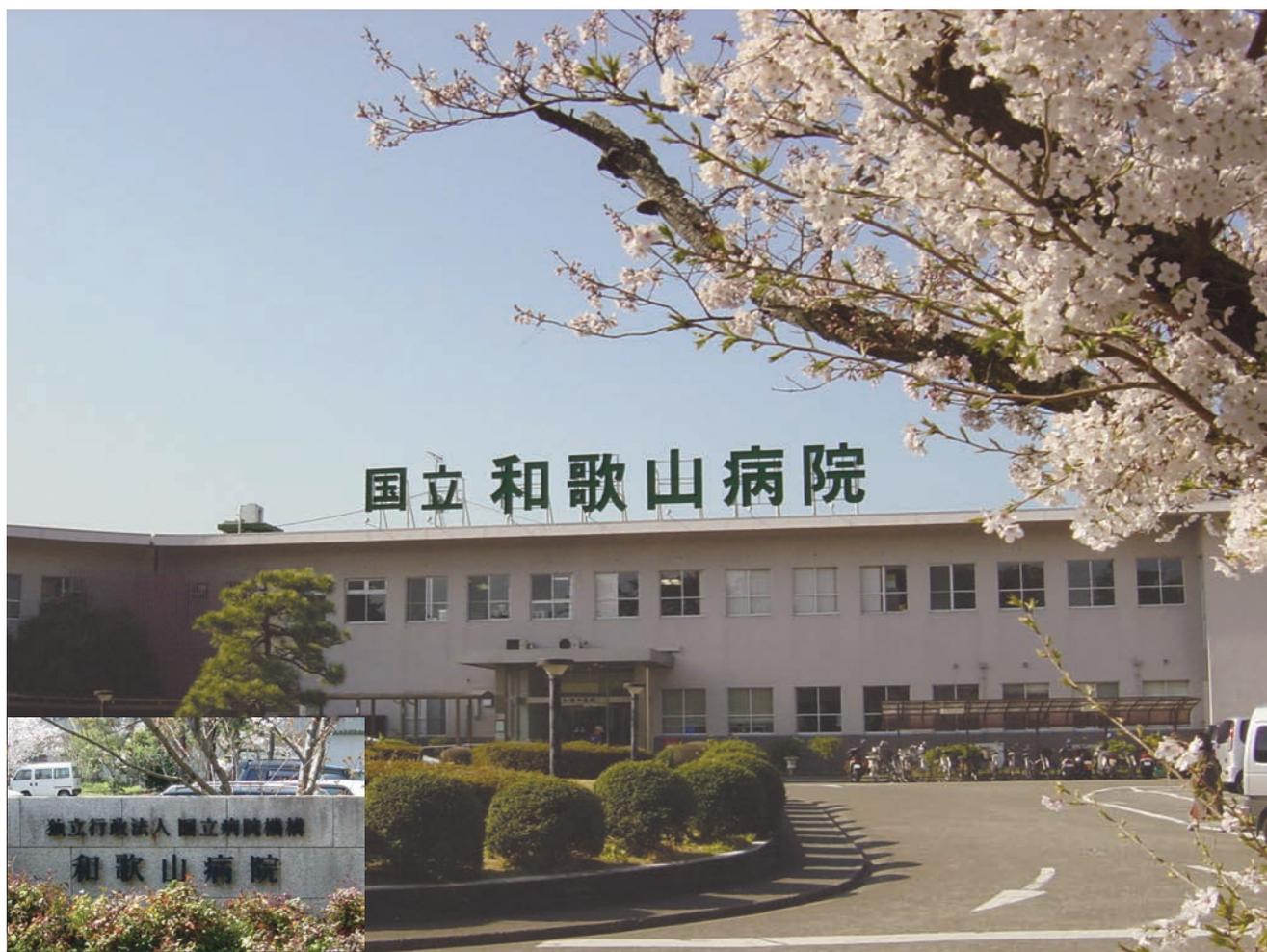
発行元

独立行政法人 国立病院機構 和歌山病院

〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138

Tel. 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~wakah/>



## 目次

- ◆ 国立和歌山病院と和歌山神経難病医療ネットワーク..... 2
- ◆ お知らせ..... 2
- ◆ 開放型病院6年目..... 3
- ◆ 栄養指導..... 3
- ◆ 展示品紹介コーナー..... 3
- ◆ 外来治療担当表..... 4
- ◆ 新任ドクターの紹介..... 4

# 国立和歌山病院と和歌山神経難病医療ネットワーク

紀平 為子(和歌山県立医科大学神経内科)

平成14年7月7日和歌山神経難病医療ネットワーク(神経難病ネット)が発足し、2年目を迎えるようになっています。県内の神経難病ネット登録患者数は現在35例(ALS 25, その他10)、登録患者の療養形態はALSでは在宅16例(呼吸器なし10, NIPPV 2, 気管切開呼吸器装着4), 入院9例(呼吸器なし5, 気管切開呼吸器装着4)です。

国立和歌山病院は神経難病ネット活動の拠点病院として多面的に御協力いただいております。ALSの入院治療を県内で最も多く引き受けられ、日常の診療、呼吸器装着患者さまとのコミュニケーションやQOL向上の工夫、患者さまと家族さまの精神的支援にも力を入れてこられました。神経難病看護においては、看護量の多さや意志疎通困難など看護師の精神的・身体的負担が大きな問題となります。国立和歌山病院は、接遇困難ケースについてケアカンファレンスの開催や研修会での症例提示などを積極的に行い、神経難病患者さまの療養につき指導的役割を果たされてきました。また、平成16年1月20日には、国立和歌山病院研修棟において神経難病ネット研修会「意志疎通のための機器の講習会」を開催させて頂きました。参加者47名、コンピュータやスイッチ、携帯用会話補助装置などの機器を実際に使用して有益な研修をすることができました。

さて、平成16年4月以降これまでの国立療養所和歌山病院は「独立行政

法人国立病院機構 和歌山病院」と組織変更されました。急性期心疾患の冠疾患集中治療室を開設されるとともに、開放型病院として



地域医療・政策医療の充実を図るため地域医療連携室を独立して設置することで、医師会、保健所、消防署、行政機関、患者団体などとの連絡・調整にあたられています。



昨今、神経難病患者さまの療養形態は、医療情勢の変化と医療経済上の制約のため、施設から在宅療養に重点がおかれつつあります。その中で、神経難病で闘病されている方は年々増加傾向にあり、和歌山県内のアンケート調査によるとALS患者さまは平成15年9月末現在で121名おられます。うち約23%の方が気管切開し呼吸器装着、気管切開・呼吸器装着患者さまのうち8.3%が在宅療養、鼻マスクによる呼吸補助をされている方は8%おられます。また、入院治療中の方は19%で、大多数は在宅あるいは在宅と入院を繰り返しているようです。和歌山県では患者数に比し入院やショートステイの可能な施設が未だ少なく、さらに呼吸器装着で入院できる病院は極めて少ない状況です。患者さまと家族さまの中には在宅療養の困難さから、療養意欲や希望があるにもかかわらず呼吸器装着を断念する方もおられます。一方、救急搬送された病院で呼吸器装着を選択されたものの、療養先をさがすのに難渋する場合も多くみられます。このように神経難病の闘病には拠点病院と協力病院・診療所の連携、訪問診療・看護や行政など多方面の支援が必要で、国立和歌山病院のご協力が不可欠です。今後とも和歌山神経難病医療ネットワーク事業にご協力をお願い申し上げます。

## 4月スタート～新名称になりました。～

当院をはじめ全国の国立病院・国立療養所は、平成16年4月1日から「独立行政法人国立病院機構」となりました。このことに伴い、当国立療養所和歌山病院の名称は、**独立行政法人国立病院機構 和歌山病院**に変更いたしました。当院におきましては、独立行政法人となりましても、これまで以上に、患者様にご満足いただけるよう、診療の充実に努めていく所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

## 開放型病院 6年目

平成11年から行っている開放型病院が5周年を迎え、昨3月13日に和歌山県立医大第一外科岡村吉隆教授をお迎えし5周年記念講演会を開催、多くの登録医および病院スタッフの参加をいただきました。開放型病院制度は、地域に根ざした医療の充実をはかるため、診療所と病院の連携を深め、患者様により安心して診療を受けていただける環境作りを目的として始めました。日ごろのかかりつけ医である診療所の登録医から紹介いただき入院となった場合、検査結果や診療方針をかかりつけ医と共有し、可能な限りかかりつけ医も来院し、直接患者様の診察・

指導などをしていただきます。入院中の情報を共有することにより、退院後も安心して引き続きかかりつけの先生の診療を受けていただけます。当院栄養士による診療所への出張栄養指導も試験的にはありますが始めました。また、年3回の勉強会・講演会を行い、さらに医師だけでなく診療所および病院看護師による勉強会を開催し、お互いの診療のレベルアップを図っています。先日、登録医および病院スタッフによる開放型病院運営委員会が開催され、さらなる情報交換の充実、登録医による病院検査機器の有効利用の推進、栄養指導など病院専門スタッフの地域への積極的な出張など、意見が出されました。6年目を迎え、患者様、住民の皆様が安心して医療を受けられるように、地域医療のさらなる充実にむけて開放型病院の発展を図ってまいります。



国立和歌山病院 診療部長 駿田直俊

## 新しい試み《出向栄養指導》

前回の和歌山病院ニュースの発行にあわせてお知らせしました出向の栄養指導について、3月におおたにクリニック・山羽胃腸科内科にお伺いし、数名の患者様に個人指導を試行実施しました。

また、他医院の開放型登録医の先生からも問い合わせをいただいております。個人指導だけでなく様々な方法を試しながら4月からも実施していく予定です。このように試行を重ね、先生方のご意見を参考により良いシステムが出来上がればと考えていますので、今後ともよろしく願います。

詳しい内容等につきましては地域医療連携室までお問い合わせください。



## 展示品紹介コーナー (ボランティアの方と職員による)



# 外来診療担当表

平成16年4月1日

総合外来	月	火	水	木	金
1 診	西村			西村	
外科	月	火	水	木	金
2 診	岩橋	横地	鈴木	別所	有本
循環器(心臓)	月	火	水	木	金
3 診	楠山	石井	担当医	楠山	水越
5 診	豊田	和中		川邊(哲)	豊田
8 診	水越				
呼吸器科	月	火	水	木	金
6 診	伊藤	川邊(和)	畠	西山	小野
7 診	駿田	小野	西山	川邊(和)	畠
神経内科	月	火	水	木	金
8 診			河本(隔週) 三輪(隔週)		河本
睡眠外科	月	火	水	木	金
8 診					駿田(午後)
小児科	月	火	水	木	金
小児科	堀野	島津井	アレルギー (予約)	藤井	島津野
放射線科	月	火	水	木	金
放射線科		池田		池田	
検査室	月	火	水	木	金
超音波室	心エコー	心エコー		腹部エコー	心エコー
				心機能検査	
内視鏡室		内視鏡		内視鏡	

- 受付時間 8時30分から11時30分
- 診療時間 8時30分から17時  
急患については、この限りではありません。
- 再診については原則、予約制にしております。
- 呼吸器科については、7診を予約制とし、予約外診療は6診にておこないます。

## 新任ドクター紹介

①専門分野 ②自分の〇 ③自分の× ④余暇の過ごし方 ⑤オススメ健康法 ⑥当院の印象



いとう やすお  
伊藤 康夫

- ①一般内科  
(消化器内科・血液内科)
- ②〇型性格
- ③小市民、小信者
- ④週末は子供にふりまわされる
- ⑤特になし
- ⑥かなり専門性の高い病院



いわの まさひろ  
岩橋 正尋

- ①心臓血管外科
- ②何ごとにも動じない(?)
- ③几帳面(?)
- ④家族でドライブ
- ⑤暇な時には体操
- ⑥まだまだ可能性を秘めている



ありもと じゅんじ  
有本 潤司

- ①呼吸器外科
- ②明るい
- ③面倒臭がりなところ
- ④ゴルフ、読書
- ⑤適度の晩酌
- ⑥敷地が広く迷子になりそう



ふじい まいこ  
藤井 麻衣子

- ①小児科
- ②楽天的、感情移入しやすい  
(良くも悪くも?)
- ③面倒くさがり、小心者
- ④車でオークワへ行ったり、京都の旦那の所へ帰ったり。今後、釣りもしたいと思っています。
- ⑤家が広いので何か運動したいなあと思っています。
- ⑥職員の方たちが皆親切です。100%あいさつを交わしていますよね。敷地が広くて気持ち良いが、津波がきたら困るなあ。